

ふりかえりプリント 10月第3週③

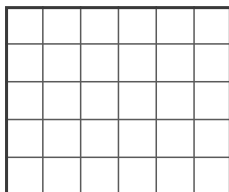
答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

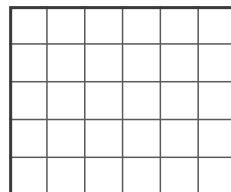
A 数と計算

① 筆算でしましょう。

$$123 \times 4$$



$$321 \times 3$$



② 5316を四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。

答え

③ 1mの重さが3.2kgのぼうがあります。このぼう1.5mの重さは何kgですか。

答え

④ 分数で表しましょう。

$$0.7 =$$

答え

B 図形・量と測定

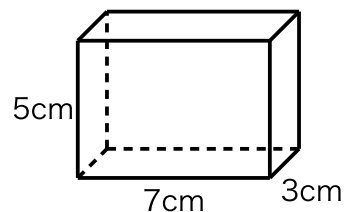
① 直径が24cmの円の半径は何cmですか。

答え

② 1km²は何m²ですか。

答え

③ この直方体の体積は何cm³ですか。



答え

④ 四角形の4つの角の大きさの和は何度ですか。

答え

C 変わり方と割合

① 48は6の何倍ですか。

答え

② 1辺が1cmの正三角形を、横に1れつにならべていきます。三角形の数が10こになったとき、まわりの長さは何cmですか。

三角形の数(こ)	1	2	3	4
まわりの長さ(cm)	3	4	5	6

答え

③ 1分間に5Lずつ水を入れます。4分間では何L入りますか。

答え

④ 7mは2mの何倍ですか。

答え

⑤ テープを2.5倍にのばしたら15mになりました。もとの長さは何mですか。

答え

こたえ (おもて)

A

① $123 \times 4 = 492$

$321 \times 3 = 963$

② 5300

③ 4.8kg

④ $0.7 = \frac{7}{10}$

B

① 12cm

② 1000000m²

③ 105cm³

④ 360度

C

① 8倍

② 12cm

③ 20L

④ 3.5倍

⑤ 6m

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

5年10月3週(3) |
①=3年 ②=4年 ③
から=5年
(Cは⑤まで)

5-10-3-3 v3



まちがいを見つけたら
教えてください

秋の日は、なぜつるべ落としなのか

名前

音読サイン

「秋の日はつるべ落とし」ということわざがあります。つるべとは、井戸から水をくむために、なわでつるして落とすおけのことです。日がしずむ速さを、そのおけの落ち方にたとえた言葉です。

たしかに、秋は日の入りが早まる速さが大きい時期です。夏至や冬至の前後には、太陽の高さの変わり方はごくゆるやかで、一日あたり数十秒しか動きません。ところが秋分の前後は、その変化がいちばん急になり、一日に一分近くも早まる時期があります。十月のひと月で、日の入りは三十分近く早まります。

もう一つ、暗くなるまでの時間そのものも短くなります。太陽が地平線に対してななめにしずむ季節は、しずんだあととも空にうす明かりが長く残ります。秋の太陽は、より立った角度で地平線を横切るので、明るさが急に引いていきます。

つまりこのことわざは、二つのことを一度に言い当てています。日の入りが日ごとに早まることと、しずんでから暗くなるまでが短いことです。

ことわざは、道具ではかった記録ではありません。それでも、毎年くり返し空をながめてきた人たちが、体で覚えた変化が残っているのです。

(1) 「うす明かり」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 朝いちばんの強い日ざし

イ 日がしずんだあとに残るかすかな明るさ

ウ 部屋につける電灯

エ 月の形が細くなること

(2) 秋分の前後に日の入りが早く感じられるのは、なぜですか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 昼の気温が高いから

イ 雲が多くなるから

ウ 地球が太陽から遠ざかるから

エ 太陽の高さの変化がいちばん急になるから

(3) 太陽の高さの変わり方がごくゆるやかなのは、いつの前後ですか。文章から五字で書きぬきましょう。

(4) 筆者は、ことわざをどのようなものだと言っていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

書くときのポイント

「～もの。」でおわらせる。

「記録ではなく」から書き始めてもよい。

こたえ (うら)

- 問1 イ
- 問2 エ
- 問3 夏至や冬至
- 問4 (例) 道具ではかった記録ではなく、毎年くり返し空をながめてきた人たちが体で覚えた変化が残っているもの。

〈○のつけ方〉
問1～問3は、答えとびったり同じなら○。
問4は〈体で覚えた変化〉が書けていれば○。

5-10-3-3 v3

5年 説明文